

大宥清寺展開催中



「宗名宣揚と弘通の発信基地」
「宗の内外、そして遥か海外に向っての弘通の発信センター」
竣工当初、時の

この度、高祖日蓮大士ご降誕八百年ご正當を迎え、さらに佛立ミュージアム開館10周年を記念して、本宗唯一、全宗門人の根本道場にして弘教宣布の中枢たる本山宥清寺に焦点を当てた企画展示「大宥清寺展」京都北野の知られざる名刹を再開しています。



「宗名宣揚と弘通の発信基地」
「宗の内外、そして遥か海外に向っての弘通の発信センター」
竣工当初、時の

お祖師さま御真筆の御題目と御自らご開眼なされた御尊像を護持し、お祖師さまご直弟・日辯聖人を開基と仰ぐ、お祖師さま門下関西圏最古の寺院「本山宥清寺」本展はその歴史的な価値、開導日扇聖人とのご縁、



宗外一般の方々に宥清寺の認知を高め、宗名宣揚と結縁にご活用くだされば幸いです。



その意義を紹介し、特筆すべきは、本山宥清寺の絶大なご協力により実現した、「高祖日蓮大士御消息」「日辯聖人御消息」「開導日扇聖人入寺縁由」など、初公開となる宥清寺ご宝物の数々です。



さらに、昭和30年頃の本山周辺を再現したジオラマや、地元商店街のご協力による京都北野を紹介するコーナーも見所です。

小野山淳鷲記



Vol.38 飛行日 R.4.5.1
発行：本門佛立宗弘通局



阪神布教区



令和3年2月14日、高祖日蓮大士ご降誕800年慶讃大口唱会を開催しました。当初予定された廣宣寺本堂での合同口唱会は緊急事態宣言により中止となり、布教区内各寺院本堂での口唱会と、各家庭で口唱へ切り替えての開催となりました。それぞれがお祖師さまへの報恩の思いとともに、口唱の熱情を捧げました。当日、家庭での口唱も含めた参加者は、廣宣寺95名、妙宝寺72名、本圓寺58名、隆宣寺88名、本有寺60名。布教区合計373名の参加をもって、大口唱会は終了しました。

阪神布教区参与 西村淳厚 記

関越布教区 前橋 本勝寺



令和3年10月3日晴天の中、館林常信寺・栃木常法寺御住職、横谷日熾導師に当山高祖会奉修と高祖ご降誕800年の慶讃法要を奉修いただきました。御法門「在世より末法は難甚し行者は凡夫行は折伏 折伏行の実践にていてお話いただきました。慶讃法要の記念品として高祖御一代の記念はがきを参詣者は頂戴して終了となりました。参詣者は50名でした。

関越布教区 栃木 常法寺

令和3年10月24日、第6支庁長・新井日友導師の下、好天のお計らいをいただき「慶讃法要」の一座を厳修しました。当日は、本山に格護の高祖手自開眼ご尊像のお写真をかざり、くんげ会員の献華をもってお祝いの意を表しました。奉修御導師より「苦しみを楽しみとして行ずれば難は菩薩の積功累徳」との御教歌で、報恩の菩薩行に精進せよと、お折伏いただきました。なお、「高祖御一台絵図」絵はがき版を参詣記念品として皆に配布いたしました。参詣数は他寺12名地元33名でした。横谷日熾 記



全国統一口唱会 報告

令和4年3月
参加寺院 111カ寺
参加人数 2326人
お教化成就数 118戸

※報告書を集計した数字です (3月末現在)

佛立アンバサダー再始動

宗務本庁弘通局では、平成31年よりブラジル教区のコレリア日友師とスリランカ教区のデイリーパ良潤師を「佛立アンバサダー」として認定し、日本国中の寺院や信者宅を巡るご奉公を展開してまいりました。外国人用のJR乗り放題切符を駆使して、リュックを背負って全国をまさに駆け回っていただきました。ご奉公を受け入れてくださった寺院や信者からは、大変な反響と感動の声を聞くことができました。



弘通局連絡先：(075) 461-1167

2師は来日してのご奉公を予定しています。海外教務との交流が、日本国内のご弘通の端緒になればと期待しております。

つづれおり新聞37号に掲載した神戸布教区慶讃別修法要記事の中で、「神戸佛立寺口唱会」とあるのは「神戸佛立口唱会」とあるのは「令和3年」とあるのは「令和4年」の誤りでした。お詫びして訂正致します。